

学校教育目標	めざす子どもの姿	総 合 評 価 （○） と 課 題 （◇）
〈かりがね精神〉 ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にする生徒	○ 授業中にもかかわらず、丁寧に挨拶をしてくれて親しみやすい生徒がとても多い。 ◇ 校外においても、もう少し積極的に挨拶ができると良い。 ○ 新型コロナウイルスのために、友達どうしで話し合う機会が減り、教師主導型となったきらいはあるが、きちんと学習が進められた。 ◇ 密になることを考慮しながらも、その中でどのように友達と共に学び合うかを考えていってほしい。学校で学ぶ真の意味をみんなで考え合いたい。希望ですが、中学校の数学や英語の先生に小学校の授業をぜひやってみてほしい。

○評価基準 ア…達成できた イ…おおむね達成できた ウ…やや達成できなかった エ…達成できなかった として調査し、下の式で全体評価を行った。
(アの人数×4+イ×3+ウ×2+エ×1)×25＝S (合計点) S≧85→A S≧75→B+ S≧65→B S≧50→C S<50→D

領 域	今年度の重点目標 評価項目	評価の観点	○実 績 （ ◇ 課 題 ）	学校 自己 評価	関係 者の 評価	・改善策・向上策
教 育 活 動	自分の考えをもち主体的に学ぶ授業	授業の始めに、子どもとともに学習課題を据え、板書する。	○生徒の言葉で学習課題を据えられるように努めた。 ◇常に「子どもとともに」が難しく、教師主導となることもあった。	B+	B+	・生徒が見通しをもって学習課題に取り組めるように、その時間の学習のねらいをより明確にしぼりこんでいく。 ・ねらいに迫る学習課題が据わるような発問を各教で実践工夫していく。
		授業において、発表や話し合いなど自分の考えを伝え合い、学び合う場を設定しているか。	○どの教科も個人追究と意見交換の場面を設けることで、生徒の中に学び合いの意識が芽生えてきている。 ◇グループによって学び合いの深まりにちがいがあり、全体授業で補う必要を感じた。 ◇コロナ関係で、話し合いを躊躇する時期があった。	B	B	・学び合う姿勢をより育てるために、話し合いのテーマを明確に据える。 ・深め合う手だてを生徒に投げかけ、アイデアを出し合う場面を設けて共有していく。
		授業に、振り返りの場面（自己評価・相互評価）を設定しているか。	○振り返りの時間を確保し、習慣化することができた。 ◇振り返りを意義のあるものにするため、共有化が必要であるが難しさも感じた。	B+	A	・振り返りの意義について、教師が生徒とともに深めた成果を、職員会前の授業研究で共有し研鑽していく。 ・次時の導入で前時の振り返りを共有したり、時間の割振りを工夫したりして、振り返りの習慣化をさらに推進する。
		授業内容と結びついた、主体的な家庭学習になるよう指導しているか。	○新型コロナウイルスの流行による臨時休業の時期には、適切な家庭学習の指示をすることができた。 ○各教科で、授業内容と家庭学習のつながりを工夫する取組が見られた。 ◇オンライン学習の利用を進めていくことが課題。	B	B	・自立した学習を目指して、自ら学ぶ家庭学習への研究をしていく。 ・オンライン学習の利用やG I G Aスクール構想による1人1台端末を使った学習方法について研修・研究を進めていく。
教 育 活 動	伝え合い、認め合い、高め合う集団づくり	互いの違いを認め、自他共に大切に出来るよう指導しているか。	○学級経営の基本として据え、日々努力することができた。 ○教職員が手本となる姿を実践するよう努めた。	A	A	・仲間とのよりよい関係を構築するために、道徳やエンカウンター、通常学級でのS S T導入の工夫をしていく。
		友達の考えや意見を真剣に聴けるような集団づくりをしているか。	○聴く姿勢を大切にし、継続的な指導ができた。 ○小集団での発表場面により、友の考えや意見を真剣に聞く姿が増えてきた。	B+	A	・真剣に聴いている生徒の姿勢を見つけ、認め、褒めていくことで、個々の聴く姿勢を育てる。 ・小集団での話し合いの成果を、全体に伝え深める場面での効率的な進め方を研究していく。
		集団の一員として、自主的・自律的行動ができるよう指導しているか。	○自分の役割や責任を自覚できるように、継続的に言葉かけをしている。 ◇自主的・自律的な行動を促す場面の設定はできたものの、時間的な制限により、指示が増えたり、結果を求めてしまったりすることがあった。	A	A	・自主的・自律的に動ける場面を明確にし、どう動くかについて考え合うことを大切にする。 ・自主的に行動するための前段階で、生徒の実態を見極め、適切な助言をしていく。
		望ましい生活習慣が身につくよう指導しているか。	○生徒会の活動が良い生活習慣を導き、多くの生徒が、生活習慣の大切さを認識し行動できている。 ○生活習慣の向上のため、家庭と連絡を密にして指導することができた。	B+	B+	・課題のある生徒には、その良さを認めるとともに、さらなる向上のため、日常での言葉かけや教育相談で対策を一緒に考えていく。
		命を大切にするよう指導しているか。	○人権に関わる言動や行動に対して、躊躇なくすぐに指導することができた。 ○計画的な『食に関する授業』や、3学期に計画している『命の学習』を、今年度も計画し推進している。	A	A	・日常の人権に関する言動や行動に対して、注意深く見守るとともに、良い言動を認め、広めていく。 ・『食に関する授業』や『命の学習』を充実させ、個々の生徒に成果が見られるように推進する。
		認め合い高め合い、達成感のある充実した部活動になるように指導しているか。	○今年度は活動時間を確保することができないものの、個々の達成感のため、短い時間の中でも、目指す活動ができる指導に努めた。 ○大会結果をしっかり受け止めつつ、積み上げてきた過程や成長を認め合う指導に努めた。	A	A	・技術面ばかりの指導にならず、お互いに認め合い、切磋琢磨できる指導をし継続していく。 ・決められた時間の中で、目標を達成し、充実した部活動となるようにさらに活動内容や指導を工夫したい。 ・部活動の統廃合や部員数の偏りについて、職員と生徒、保護者の意向をつかみむとともに継続的に検討していく。
学 校 運 営	家庭や地域と連携した学びの場の創造	保護者と願いを共有した学校づくりに努めているか。	○学校通信や学年通信、学級通信を発行し、保護者への連絡や学校生活の様子を発信することができた。 ◇電話などで、保護者の願いは共有できているものの、願いに向かって前進していくことに難しさを感じた。	B+	B+	・保護者への無記名アンケート（10月実施予定）を参考に、更に保護者の願いを把握し、保護者の願いに沿った学校づくりを進めていく。 ・保護者との願いの共有を、複数の職員で支え、推進していく大切をさらに築いていく。 ・感染予防に努力しながら、可能な範囲での懇談を実施していく。
		地域と連携し、生徒に地域愛や活動で培う力が育つよう努めているか。	○食育の授業では、地域のよさを知る活動を地域の方にご協力いただき実践することができた。 ◇新型コロナウイルスの流行防止のため、例年計画しているP T A活動やボランティア活動ができなかった。	B+	B+	・新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、地域との連携やボランティア活動などの参加について方法を工夫をする。
		地域に開かれた、また、地域に信頼される学校づくりに努めているか。	○生徒昇降口付近のサルビアなど、花作りを例年のように実施できた。 ◇コロナ禍において、学校配信メールやホームページを通して、保護者や地域へ連絡をより密にすることが課題となった。	B+	B+	・新型コロナウイルスの流行に留意しながら、地域に開かれた活動や学校づくりなどの事業を進めていく。 ・保護者や地域の方の来校制限があるため、意識してこまめに情報を発信していく。
		小学校と連携した教育を進めているか。	○小中連絡会を中心に、小学校との連絡を密にして、新入生の受け入れができた。 ◇コロナ禍においても可能な交流を工夫して実施することが課題となった。	B	B	・安心して入学し、健やかに学校生活をスタートさせられるように、コロナ禍ではあるが、『体験授業』や『小中連絡会』を工夫して実施する。 ・同教科の小中連携もさらに工夫して実現したい。